

第5学年 社会科学学習指導案

場 所	5年3組教室
児 童	5年3組 34名
指導者	細川 浩史

1 単元名 食料生産を支える人々～米づくりのさかんな地域～

2 単元のねらい

本単元は、学習指導要領の第5学年の内容(2)「我が国の農業や水産業について、様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること、我が国の主な食料生産の物の分布や土地利用の特色、食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考えるようにする。」に関わる単元である。

本単元では、日本の主食である米の生産について、地図や統計、インタビュー資料などをもとに調べ、農家の人々が生産性を高めるために様々な工夫や努力をしていることや、安全でおいしい米づくりに取り組んでいることをとらえることをねらいとする。また、米の生産量と消費量の関係の推移から、日本の食料生産の課題に目を向け、生産者と消費者という異なる立場で、その課題について考えたり、国民の食生活を支えている農業の重要性や発展について考えたりすることで社会的なものの見方や考え方を豊かにすることをねらいとしている。

3 単元の指導構想

(1) 児童について

児童は、これまでの学習において、社会的事象に関心をもち、資料をもとに調べ、社会的事象の様子や事実をとらえることはできている。しかし、学習計画を立てる力、問題の解決のために必要な資料や情報を考える力には個人差があるため、問題解決的な学習を自らの力で進めることが難しい児童もいる。また、調べた事柄を端的にまとめたり、調べた事実やそこから考えたことなどを、比較・関連付け・総合したりするなどして、その意味や影響などについて考える力は十分に育っているとは言えない。

米づくりに関わって、家庭で食べている米の名前については多くの児童が知っている。また、家族と買い物と一緒にいった経験から、米の値段について知っている児童も多い。しかし、米がどこで作られているのかを知っている児童は少ない。また、前学年の学習で、米づくりに適した気候や地形について学習しているものの、日本で米づくりが盛んな地域がどこであるかということもよくわかっていない。そして、学区には水田が少なく、農業に従事している家庭もほとんどないために、米づくりの仕事について知っている児童もほとんどいない。

(2) 単元について

本単元では、米の生産量日本一を誇る新潟県にある南魚沼市の米づくりの様子を中心題材として取り扱う。自然環境を生かして米作りに取り組んでいることや、機械化や耕地整理、品種改良などを行い生産性を高めているということ、環境のことを考え安心安全な米づくりに取り組んでいることなどの内容を指導する。

南魚沼市は、魚沼盆地に位置し、市の中央には魚野川が流れ、川沿いに耕地整備された水田が大きく広がっている。冬は2mを越えるほどの積雪になる豪雪地帯であるが、春の豊富な雪解け水は米づくりに多大な恩恵を与えている。また、昼夜の気温差が大きいことは、甘みのあるお

いしい米づくりに役立っている。

米づくりの仕事は、春の種まき、苗づくりに始まり、田おこし、しろかきなどの水田づくり、田植えや稲刈りなど1年を通して様々な作業がある。農家の人々は、水の管理をこまめに行ったり、あいがもを使った除草作業などの工夫をしたりすることで農薬をまく回数をおさえるなど環境のことを考えながらより安全でおいしい米づくりに努めている。また、近年では、機械化や耕地整理、品種改良などの工夫や努力により効率よく多くの米を生産できるようになってきている。しかし、米の消費量の減少や農業に携わる人の高齢化、政府の生産調整による作付面積の減少などにより全国的に米の生産量は減少している。加えて、産地間の競争や安い外国産米の台頭などによる米価の値下がり問題などは、生産者のみならず我が国の食に関する大きな問題となっている。それらの問題に対して、農家の人々は、様々な工夫で解決しようと試みている。それらの試みや稲作に対する思いなどに触れていくことで、我が国の農業の重要性や発展について自分なりに考えていくことができるものと思われる。

本単元は、米づくりが盛んな南魚沼市の自然環境の特色や生産性を高めるための工夫や努力について調べ、獲得した知識を比較・関連付け・総合するなどして社会的事象の意味を理解し、社会的なものの見方や考え方を育成していくことに適した単元であると考えられる。また、米の生産量の減少の問題や農業の果たす役割などについて、生産者と消費者という異なる立場から考えていくことを通して、社会的事象を異なる立場や様々な視点から見たり考えたりする力の育成にも適した単元であると考えられる。

(3) 指導にあたって

単元の導入の段階では、地域の店舗で販売されている米の写真や家庭で食べている米袋、米の生産が盛んな地域などの資料を提示し、気付いたことを話し合うことで、社会的事象を自分の生活や自分自身との関わりで見たり考えたりすることができるようにする。その上で、都道府県別の米の生産量のグラフや生産者の写真などの資料を提示することで、「地域」「環境」「人」という視点で関心をもったことや疑問に思ったことを話し合い、単元を通して追究していく学習問題の設定につなげる。

問題の追究の段階では、南魚沼市の自然環境の特色や米づくりの仕事などについて、収集した資料から、必要な情報を適切に読み取り、簡潔にまとめる活動を行うことで、事実に基づいて見たり考えたりすることができるようにする。また、調べた事実を出し合い、再構成していく話し合い活動を行うことで社会的事象を比較・関連付け・総合して見たり考えたりすることができるようにする。さらに、米づくりのさかんな南魚沼市の自然環境と米づくりの関連、生産性を高めるための取組や、環境に配慮し安全でおいしい米の生産に取り組む農家の努力について考えを深められるようにするために、小グループを構成したり、調べた事実の意味や関連について考えを深めるような視点を提示したりして、調べたことをもとに話し合う活動を行う。そして、米の反収が増加しているという資料と米の生産量が減少しているという資料を提示し、その関係に着目しながら、生産量が減少している理由について追究していく。そこから見える我が国が抱える米づくりの問題点について、生産者と消費者と2つの立場からその影響を考える話し合いを行い、社会的事象を異なる立場や様々な視点で見たり考えたりできるようにする。

単位時間の終末の段階では、分かったことと学習問題の解決に関わって有効だった社会的なもの見方や考え方を振り返りの観点として提示する。児童が板書をもとに学習を振り返ることができるように、学習内容や学習の流れ、本時で活用したものの見方や考え方が構造的に位置付いた板書を構成する。単元の終末の段階では、国民生活を支えている農業の重要性や発展について考えられるようにする。そのために、農家の人たちの新たな取組やそこに込められた思いについて調べて考えたことを話し合う活動を行うことで一人一人の考えを深めていく。また、自分も消費者の一人であるという視点で生活を振り返り、これから未来に向けてできることや大切にしていきたいことを視点として提示し、自分の考えを書きまとめられるようにする。

4 単元の指導計画

(1) 目標

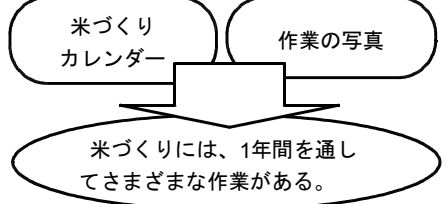
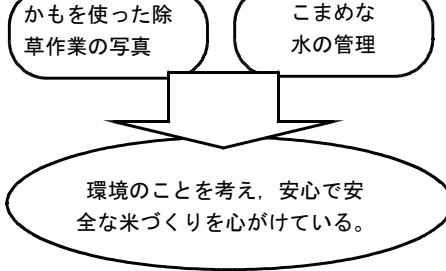
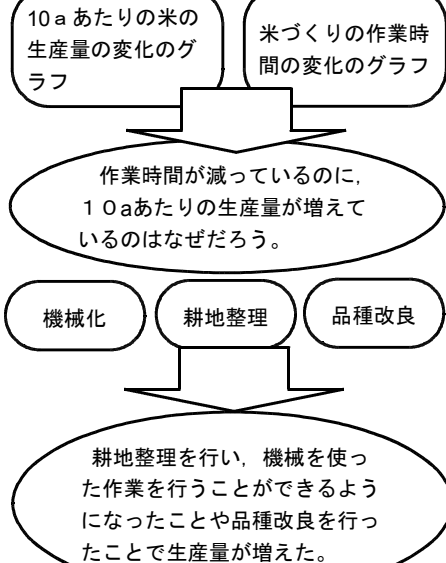
- 我が国の農業の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、国民の食生活を支える我が国の食料生産の発展を考えようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 我が国の農業の様子から学習問題を見出して追究し、それらが国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることについて思考・判断したことを言語などで適切に表現する。 【社会的な思考・判断・表現】
- 我が国の農業の様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする。 【観察・資料活用の技能】
- 我が国の農業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを理解する。 【社会的事象についての知識・理解】

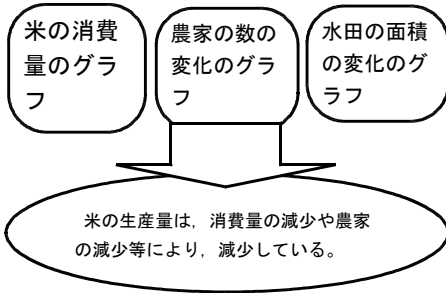
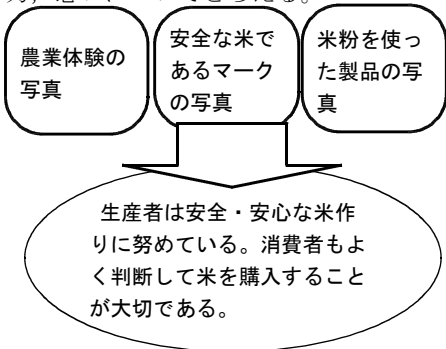
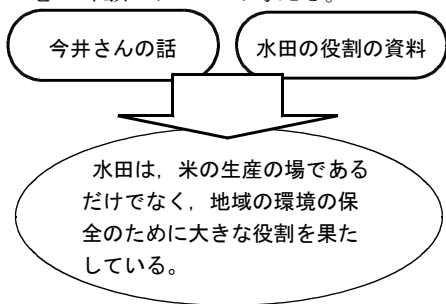
(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
①我が国の農業の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ②国民生活を支えている我が国の農業の発展を考えようとしている。	①我が国の農業の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②食料生産の様子と自然環境や国民の食生活とを関連付けて、我が国の農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考え、適切に表現している。	①地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の農業の様子について必要な情報を集め読み取っている。 ②調べたことを白地図や作品などにまとめている。	①様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解している。 ②食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。 ③我が国の農業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを理解している。

(3) 指導計画

段階	時	学習活動	手立て ○社会的なものの見方・考え方	評価規準
単元の導入	1	米袋や都道府県別の米の生産量の資料をもとに、米づくりのさかんな地域をとらえ、調べたいことを話し合う。 	<p>〈「事象」とのつながり〉 学区のお店で売られている米の写真や値段、米の生産量の多い都道府県、食味ランキングなどの資料を提示する。</p> <p>↓</p> <p>新潟県の米づくりの工夫や努力に疑問や関心をもつことができるようにする。</p> <p>○事実に基づいて見たり考えたりする。</p>	<p>【関－①】米は、どこでどのようにして生産されているのか、関心をもちて調べようとしている。</p> <p>【思－①】米づくりのさかんな地域の特色、農家の工夫や努力について調べる学習問題を考え、表現している。</p>

	<p>2 南魚沼市の自然環境や地形の特色について調べ、南魚沼市の米づくりが気候や地形の特徴を生かして行われていることをとらえる。</p> 	<p>〈「事象」とのつながり〉 南魚沼市が米づくりに適している自然条件を、3点で簡潔にまとめるという条件を提示する。 ↓ 小グループで話し合い、各種資料から必要な情報を適切に読み取り、簡潔にまとめられるようにする。</p> <p>○事実に基づいて見たり考えたりする。 ○社会的事象を自分なりに解釈して見たり考えたりする。</p>	<p>【知-③】南魚沼市の自然環境について調べ、①盆地であること②冬の降雪量が多いこと③夏の昼夜の気温差が大きいこと、の3点について触れながら、自然環境と米づくりがさかんな理由を関連させてノートに記述している。</p>
	<p>3 米づくりの仕事を調べ、収穫までの様々な作業をとらえる。</p> 	<p>〈「事象」とのつながり〉 米づくりの仕事をカレンダーにまとめる方法を提示する。 ↓ 米づくりの仕事がいつ、どのように行われているのかとらえられるようにする。</p> <p>○事実に基づいて見たり考えたりする。</p>	<p>【技-②】米づくりの1年間の仕事について ①仕事の名前②内容 ③仕事の時期 の3点を具体的にノートに書きまとめている。</p>
<p>問題の追究</p>	<p>4 今井さんの一日の仕事の様子について調べ、安全や環境に配慮した米づくりの工夫や努力をとらえる。</p> 	<p>〈「友達」とのつながり〉 農業や化学肥料に頼らず、手間がかかる水の管理やかもを使った除草をしている理由について考え、話し合う活動を構成する。 ↓ 今井さんが環境のことを考え、安全安心な米づくりのために工夫や努力をしていることをとらえられるようにする。</p> <p>○複数の社会的事象から共通性をとらえるような見方や考え方を考える。</p>	<p>【知-②】今井さんがこまめに水の管理をしたり、かもを使って除草をしている理由について、 ①環境のこと ②安全な米を作ること の2点について触れながら説明している。</p>
	<p>5 米づくりに携わる人々の工夫や努力をとらえる。 6</p> 	<p>〈「事象」とのつながり〉 10aあたりの米の生産量の変化と作業時間の変化の2つのグラフを提示し、比較して見るように促す。 ↓ 米づくりの工夫についての追究意欲を高められるようにする。</p> <p>○社会的事象を比較・関連付け・総合して見たり考えたりする。</p> <p>〈「友達」とのつながり〉 「機械化」「耕地整理」「品種改良」のよさや効果を視点として話し合う活動を行う。 ↓ 3つの要因がそれぞれ相互に関わったおかげで、米の収穫量が増えたことをとらえることができるようにする。</p> <p>○社会的事象を異なる立場や様々な視</p>	<p>【知-②】短い労働時間で多くの米を生産する工夫や努力について、 ①機械化 ②耕地整理 ③品種改良 の3点についてそのよさを説明している。</p>

			点で見たり考えたりする。	
7 本時	日本の米づくりの課題について調べ、農家の抱える課題についてとらえる。 	〈「友達」とのつながり〉 米の消費量の減少が生産者、消費者に及ぼす影響を話合いの視点として提示する。 ↓ 生産者・消費者にとって大きな問題であることに気付くことができるようにする。	○社会的事象を異なる立場や様々な視点で見たり考えたりする。	【思一②】米の生産の様子と国民の食生活とを関連付けて、我が国の農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考え表現することができる。
問題の追究	8 米づくりの様々な課題を解決するための取組を調べ、これからも生産を続けていこうとする農家の人たちの工夫や努力、思いについてとらえる。 	〈「友達」とのつながり〉 米づくりをこれからも盛んに続けていくために、生産者、消費者が大切にしていかなければならないことは何かという話合いの視点を提示する。 ↓ 問題の解決に対して様々な考えがあることに気付くことができるようにする。	○社会的事象を異なる立場や様々な視点で見たり考えたりする。	【思一②】米づくりに携わる人たちが課題を乗り越え生産を続けていくために、①安全性や環境に配慮した米づくり②産地直送、生産組合や会社化による費用の削減③米の消費を増やす試みの3点について生産者の工夫や努力をしていることを考え、表現している。
終末	9 これまで学んできた米づくりの様子や今井さんの話から、水田が地域に果たす役割をとらえるとともに、米づくり農家の思いや願いについて考える。 	〈「未来」とのつながり〉 単元を通して学習したことについて考えたこと、これからの自分の生活で大事にしていきたいことを振り返りの観点として提示する。 ↓ 社会的事象を自分の生活や自分自身との関わりで見たり考えたりすることができるようにする。	○社会的事象を自分の生活や自分自身との関わりで見たり考えたりする。	【思一②】食料生産の様子と自然環境や国民の食生活とを関連付けて、我が国の農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考え適切に表現している。

5 本時の指導計画

(1) 目標

米の生産量の減少の理由について調べることを通して、その理由や影響について考えることができる。

【社会的な思考・判断・表現】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
米の生産量が減少している理由について調べ、①米の消費量の減少、②農業従事者の減少、③生産調整等による水田面積の減少のそれぞれの関連や米の消費量の減少による影響について考えている。	まとめの段階で、学習問題を振り返り、米の生産量が減少する原因について調べて話し合ったことを板書で確認し、書きまとめられるようにする。

(3) 展開

	学習内容と活動	指導上の留意点 (◇評価)	備考(資料)
導入 5分	<p>1 10a あたりの米の生産量のグラフと米の生産量の変化のグラフを比較して気付いたことを話し合う。</p> <p>2 学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>10a あたりの米の生産量は増加しているのに、生産量が減少しているのはなぜなのだろう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈「事象」とのつながり〉 2つのグラフを比較して読み取るように促す。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>米の生産量の変化に疑問をもち、追究意欲を高めることができるようにする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ：10a あたりの米の生産量の変化 ・グラフ：米の生産量の変化
展開 33分	<p>3 予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米が売れなくなってきたから。 ・働く人が少なくなったから。 ・水田が少なくなったから。 <p>4 調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の生産量が減っている原因について <p>5 調べたことをもとに話し合う。</p> <p>(1)米の生産量が減っている主な原因。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費量が減っている。 ・水田が減っている。 ・働く人の数が減っている。 <p>(2)米の消費量が減り続けることで農家の人や私たちが困ること。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(生産者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米を作っても売れずにあまる。 ・米づくりを続けられない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(消費者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷害などで米がとれないときに米が不足する。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想の根拠を明らかにして調べる際の視点につなげる。 ・予想を確かめるために必要な資料は何かを問い、追究の見通しを明らかにする。 ・問題を解決するために必要な資料を用意し、児童が必要に応じて活用できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈「友達」とのつながり〉 生産者・消費者の立場から米の生産量の減少による影響について考え、話し合う活動を設定する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>異なる立場から社会的事象の意味を考えることで、米の生産量が減少している理由や影響について考えることができるようにする。</p> </div> <p>・◇【思考・判断・表現】(発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料：今井さんの話 ・グラフ：米の消費量の変化 ・グラフ：働く人の数の変化 ・グラフ：水田面積の推移 ・グラフ：米の値段の比較
終末 7分	<p>6 本時の学習を振り返り、米の生産量が減少している理由について分かったことや考えたこと、学習問題の解決に関わって有効だった社会的な見方や考え方について書きまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈「未来」とのつながり〉 学習問題の解決に関わって有効だった社会的なものの見方や考え方を振り返りの観点として提示する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本時で身に付けた見方や考え方を自覚できるようにする。</p> </div> <p>・◇【思考・判断・表現】(ノート)</p>	

